今までの検討内容について

本部の在り方、本部を機能させるポイントの検討より（2026年3月）

・学校運営協議会と別組織にする
・全体的になるべく幅広い方に参加してもらおう
・組織単位は、本部は市で１つ、実際の活動はブロック分けする
・トップダウンではなく、地域がまちをどうしていきたいか描いて行う
・公民館との関わりについては要検討

ふじみ野市事例から取り入れたい点、違和感を感じた点より（2026年5月）

・学校単位での「本部」組織はいらないが、学校単位で活動する人たちを支援する、
　市レベルの上位組織として「本部」があった方がよい
・教員の負担軽減は必要だが、学校支援の視点だけでなく、地域支援の視点も必要

富士見市の強みとして再認識した点より（2026年5月）

・公民館、その他地域活動、地域団体の活動など社会教育が基盤としてできている、
　パーツはほとんど揃っているので、それをうまく活用する

目指す理想像について（2026年7月）

富士見市の計画等から、地域学校協働活動を行うことで人や地域にどうなってほしいかの理想像を仮置きする
仮置きした理想像は、あとで提言内容とつなげて提言内容の正当性の根拠とする

・子どもや関わる大人にどんな人になってほしいか（根拠となる富士見市の計画）

計画名	項目	内容
教育振興基本計画	めざす市民像	生涯にわたって学び、考え、行動し、心豊かに生きる人
教育振興基本計画	めざす市民像	学びあいから交流の輪を広げ、信頼しあい、地域の絆をはぐくむ人
教育振興基本計画	めざす市民像	学びの成果を生かして、自ら社会に参加し、郷土(まち)の未来を拓く人

・取り組みを通じてどんな地域になってほしいか（根拠となる富士見市の計画）

計画名	項目	内容
第６次基本構想	理想の“未来”の３つの要素	実りある暮らし、充たされたつながり、恵まれた生活環境
教育振興基本計画	学校・家庭・地域が 一体となった教育の推進	学びあい、人がつながり、その成果を子どもの成長・発達や 住みよいまちづくりに還元できる地域社会をつくります。
生涯学習推進基本計画	目標	自由な学びにより生きがいができる 心豊かに暮らせるまちづくり実現のため、市民一人ひとりが、 自由に学び、生きがいを実感できる“まち”を目指します。
こども計画	基本理念	こどもが主役 子育ち 子育て ともに育つ 笑顔あふれるまち☆ふじみ